

令和8年1月13日

四国技術事務所

「四国インフラDX人材育成センター」を 報道関係の方へ事前公開します！

四国技術事務所で整備を進めている「四国インフラDX人材育成センター」が
令和8年2月2日(月)に開所します。

開所に先立ち、報道関係の方を対象に開所予定のセンターを事前公開します。

1. 日 時 : 令和8年1月26日(月) 13:30~14:30頃

2. 場 所 : 国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所
(香川県高松市牟礼町牟礼1545)

3. その他

※事前公開の取材を希望される方は1月20日(火)15時までに^{別紙1}にて申込みをお願いします。

※施設概要については^{別紙2}を参照下さい。

※2月2日の「開所式」及び「内覧会」の概要については^{別紙3}を参照下さい。

なお、一般の方は「開所式」及び「内覧会」には参加できません。

四国技術事務所ホームページ <https://www.skr.mlit.go.jp/yongi/>

本施策は、四国圏広域地方計画「N o . 5 地域の自立・持続的発展に向けた「資国」産業競争力強化プロジェクト」の取り組みに該当します。

問い合わせ先(◎: 主な問合せ先)

国土交通省 四国地方整備局 四国技術事務所 電話 087-845-3135(代表)

式 副所長(事務) 久保 雄司 (内線 202)

◎総務課長 佐川 優子 (内線 211)

施設 総括技術情報管理官 石本 雅幸 (内線 301)

◎品質調査課長 藤原 義教 (内線 351)

国土交通省 四国地方整備局
四国技術事務所 品質調査課 宛
申込先 : (E-mail) skr-yongia77@mlit.go.jp

「四国インフラDX人材育成センター事前公開」について

取 材 申 込 書

必要事項をご記入のうえ、1月20日（火）15時までにメールにてお申し込み下さい。

貴社名	
連絡先	TEL : E-mail : ※電話番号は、取材当日に連絡可能な連絡先を記載して下さい。 ※メールアドレスを必ず記載して下さい。
取材者 (代表者) 氏名	
取材者人数	人 ※入場される方全ての人数を記載して下さい。
車台数	台
連絡事項等	

(留意事項)

- ・当日は2階総務課受付窓口にお声掛け下さい。会場にご案内いたします。

■四国インフラDX人材育成センターとは

インフラDXの方向性『「働き方改革」⇒「担い手確保」⇒「持続可能な産業」』を実現するため、「四国インフラDX人材育成センター」は、建設業界に従事する人々や学生を対象に、建設生産プロセス全体(測量・設計・施工・維持管理)に係るデジタル技術の知識習得の場を提供します。

四国インフラDX人材育成センターでは、建設業界の新しい技術を学べる9つのコンテンツが体験できるほか、研修教材としても使用することで、デジタル技術を建設現場に活かせる人材の育成を推進します。

■四国インフラDX人材育成センターで体験できること

当センターでは、設計・発注・工事施工の各段階ごとに必要な視点や確認ポイントを、工事では本来長期間を要する工程を短時間に時系列で追い、変化を体験しながら学ぶことができます。



- ・設計施工のマネジメント体験
- ・工事事務、安全管理のマネジメント体験

ドーム型スクリーン等を使用したエリアでは、建設機械の遠隔化・自動化の技術を用いた施工環境の体験や、通信機材を活用した工事現場の遠隔確認を体験できます。

- ・ドローンシミュレータの操作体験
- ・360度カメラ動画によるバーチャル現場見学



- ・建設機械シミュレータの操作体験



- ・遠隔型の建設機械を用いた操作体験



- ・3次元測量体験
- ・被害状況調査のDX活用体験



- ・インフラメンテナンス技術の体験



- ・パワーアシストスーツ体験(電動)

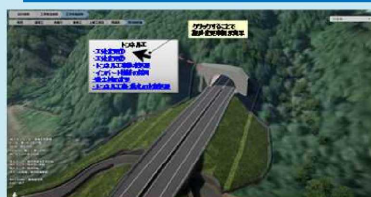


■四国インフラDX人材育成センターでの体験コンテンツ（体験例）

①設計施工のマネジメント体験

設計段階、工事発注段階、工事実施段階ごとに必要となるマネジメントの考え方を4D設計を活用して疑似体験できます。

4D設計を活用した時系列的な疑似体験学習ツール



工事実施段階



工事発注段階



工事施工段階

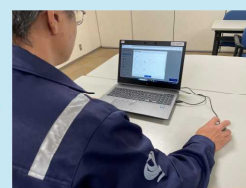
②バーチャル現場見学

現場のライブ配信やバーチャル見学等による「見える化」や遠隔臨場技術等公共工事の理解を得るためのデジタルツールの活用事例を紹介。実際に体験していただけます。

建設現場を想定した遠隔臨場体験



現場



事務所等

③3次元測量体験

ハンディスキナ等の測量機器の操作体験をしていただき、3次元点群の取得や3次元測量で取得した点群の処理体験ができます。

④被災状況調査のDX活用体験

TEC-FORCEによる被災状況調査ではICTを積極活用し、作業負担の軽減を図っています。活用事例として、デジタル技術を活用した計測の高度化、間接計測の技術等について体験できます。



測量体験

⑤建設機械の遠隔化・自動化・施工技術の体験

シュミレータを使用して、「i-Construction2.0」の「施工のオートメーション化」に関連した遠隔施工やドローンを活用した橋梁定期点検作業の体験ができます。



遠隔建設機械(バックホウ)シュミレーター

⑥パワーアシストスーツ体験

建設現場技能者の身体動作の支援として、他分野で活用が広がるパワーアシストスーツの建設施工での有効性について実際に作業の体験ができます。



土のう作成作業体験

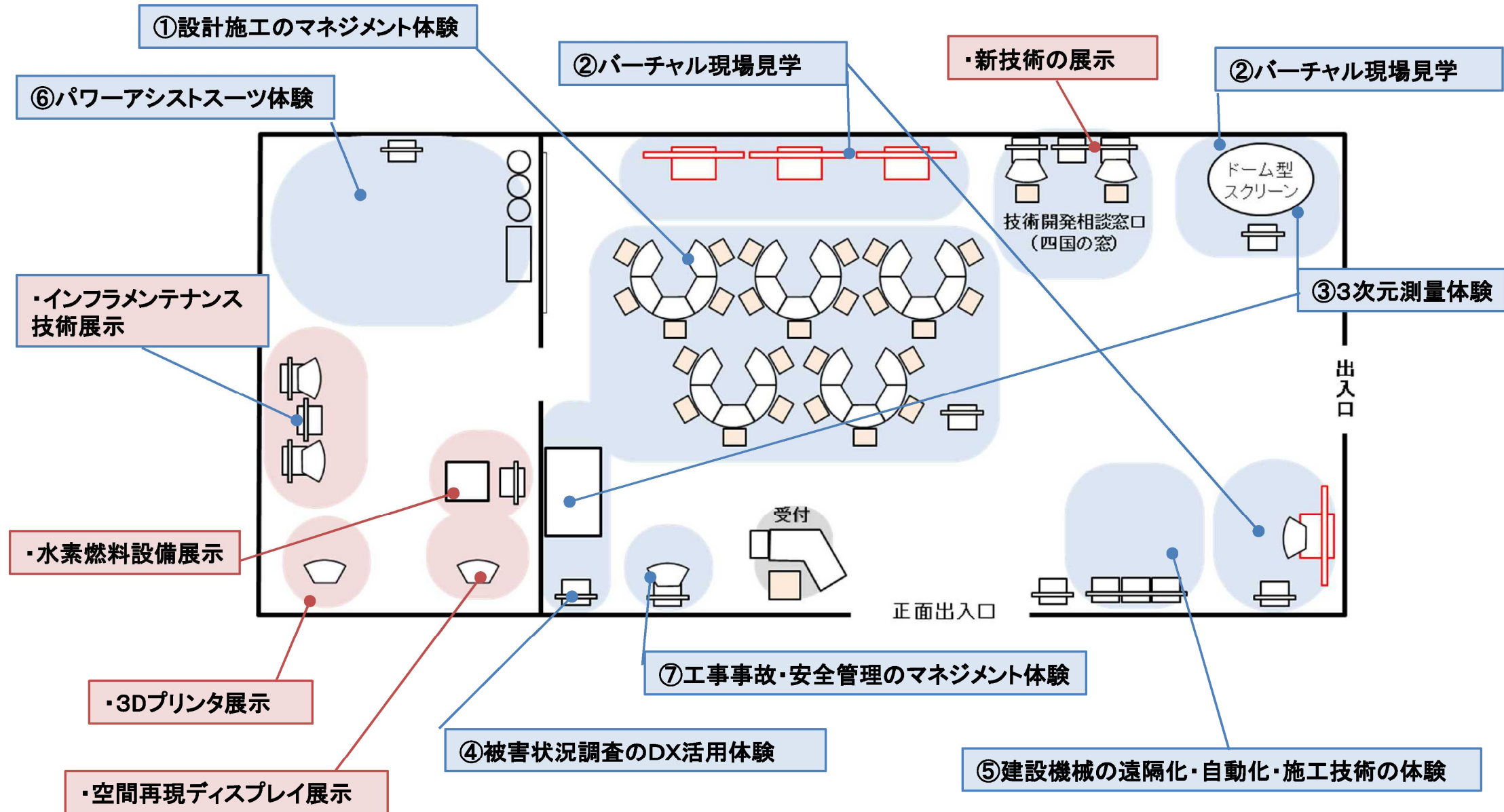
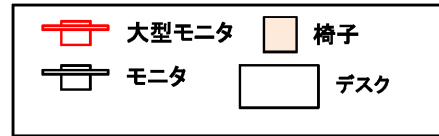
⑦工事故・安全管理マネジメント体験

四国地方整備局でとりまとめている事故事例を4D設計を用いて、施工の工種毎に発生している事故の内容を学び、代表的な工事故に対して、再度災害防止対策の内容を考えたり、VR事故体験安全教育ツールを用いて、建設現場において生じやすい事故内容について疑似体験ができます。



VRを活用した事故体験イメージ

■四国インフラDX人材育成センター 配置図



【概要】

四国インフラDX人材育成センターは、**最新のDX技術**
が体験可能な施設として整備し、生産性向上に係るデ
ジタル技術の活用や先行事例を共有・推進する拠点と
なる施設です。

四国技術事務所への交通アクセス



1. 開所式会場

四国技術事務所
(高松市牟礼町牟礼1545)

2. 内覧会会場

四国インフラDX人材育成センター
(四国技術事務所庁舎内)

3. 開所式

○日時:令和8年2月2日(月)
10:30~11:20頃まで

○受付:10:00~

○概要:

関係者による式辞、挨拶
施設概要説明
テープカット

4. 内覧会

○日時:令和8年2月2日(月)
11:20頃~12:00頃まで

○開所式に引き続いて実施